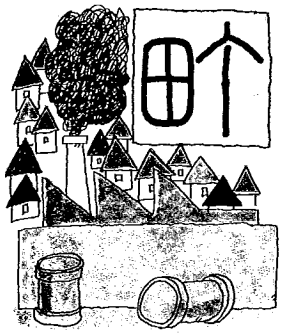
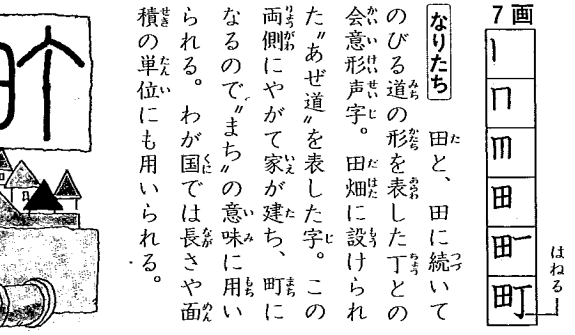
町

【1年】

7画





はねる

音 チョウ

訓 まち

なりたち 田と、田に続いてのびる道の形を表した丁との会意形声字。田畑に設けられた〝あぜ道〟を表した字。この両側にやがて家が建ち、町になるので〝まち〟の意味に用いられる。わが国では長さや面積の単位にも用いられる。

いみとじゅくご

▼まち。人の大勢住む所。

町人…江戸時代、都市に住んだ商人や職人。

町家…町の中にある家。特に商家（商店）のこと。

町医者…民間で開業している医者の称。江戸時代では、御殿医に対する言葉。現在では、病院勤めの医者に対して、開業医のこと。

▼長さの単位。

一町…六十間（一間は六尺。一尺は約三十センチメートル）約百九メートルの長さ。

▼耕地（及び山林）面積の単位。

一町…十反（一反は十畝、一畝は三十歩）の面積。一ヘクタールよりやや狭い。

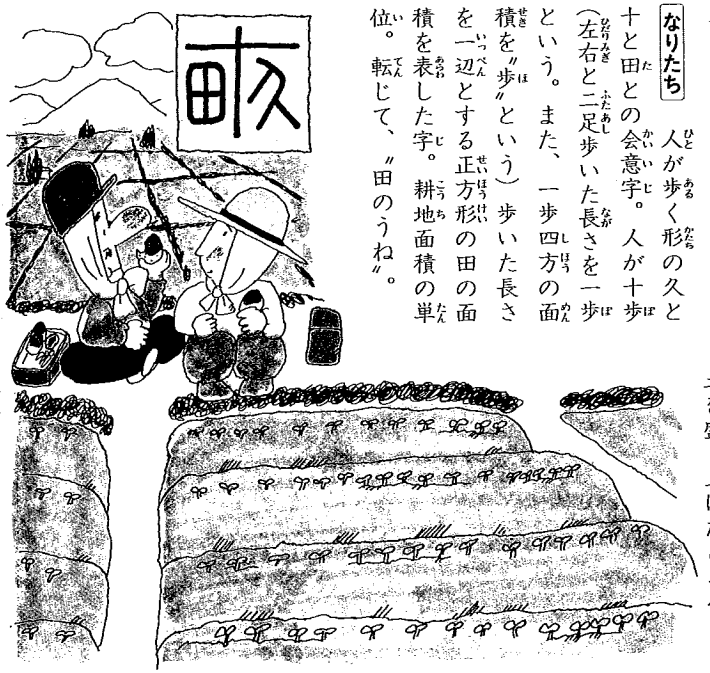
よみかた

町会・町長・町民・町立・町角・町工場・町並み・裏町・下町・八百八町・港町

町畝

畝

10画



はらう

音 おん

訓 せ・うね

なりたち 人が歩く形の久と十と田との会意字。人が十歩（左右と二足歩いた長さを一歩という。また、一歩四方の面積を〝歩〟という）歩いた長さを一辺とする正方形の田の面積を表した字。耕地面積の単位。転じて、〝田のうね〟。

いみとじゅくご

▼耕地面積の単位。せ。

一畝…三十坪（約一アール＝百平方メートル）の耕地面積のこと。

▼うね。作物を植えるために土を盛り上げたところ。

略

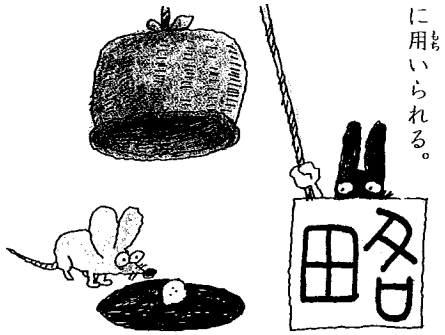
【5年】

11画

はらう

音 おん

訓 リャク



なりたち 至る意味の各と田との会意形声字。田に至るという意味の字で、現地に至って経営の大体を計画することを表した字。〝経営（治めること）・大体・計画〟などの意味に用いられる。

いみとじゅくご

▼経営。治める。営む。

経略…国を経営すること。国を治めること。

▼はかりごと。巧妙な計画。

計略…はかりごと。

策略…はかりごと。

謀略…はかりごと。悪い意味で使われることが多い。

戦略…戦争のはかりごと。敵に勝つための大局的な計画。

▼大体。大よそ。大まか。

大略…大体。大よそ。あらまし。

略図…大まかな地図。

省略…細かいところを省いて大まかにすること。

▼省略。はぶく。

略称…省略した名称。

略式…省略した形式。反正式

▼掠（りゃく）（かすめる）の代用。

侵略…侵入し奪い取ること。

よみかた

略歴・簡略・前略

略留

留

【5年】

10画

つき出ない

音 おん

訓 リュウ・ル とめる・とまる

なりたち 川の流れが滞って川幅のふくれた形をかたどった卯と田との会意形声字。川の流れを田に引き入れて、水を一時的に、〝とどめる〟ことを表した字。〝とどめる（とめる）〟こと。また、〝とどまる（とまる）〟こと。

いみとじゅくご

▼とどまる。

居留…ある場所に一時的にとどまり住む（居住する）こと。

留学…外国など、よその土地に一時的にとどまって勉学すること。

留任…任期が終わっても続いてその役職にとどまること。

留守…家にとどまり守るという意味の言葉で、家の人が外出する時、残って番をすること。留守番。普通には、外出して家をあける意味に使う。

▼とどめる。

留意…心を留めること。注意。

保留…今の状態のままにとどめておくこと。

慰留…なだめとどめること。思いとどまるよう慰めること。

よみかた

遺留・帯留め・残留